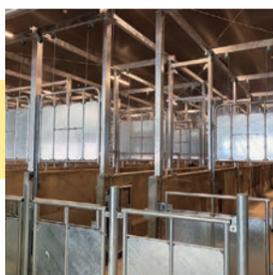


株式会社いわちく 豚処理加工施設が新稼働!



設備紹介



1 繫留所
クローズドシステムの導入や特殊ミストの散布により、臭気対策を強化。衛生・環境面に配慮しています。



2 円形追込装置
豚の習性を利用した円形追込み装置の導入により、豚のストレスを軽減。生産性と品質向上をはかります。



3 自動電撃装置
最新の豚腹乗せ型自動電撃装置の採用により、省力化と瑕疵低減が可能になりました。



4 横型剥皮装置
剥皮工程以降を2ライン化し、時間当たり処理頭数をアップ。



7 計量・包装ライン
ロータリーチャンバーや自動ラベル読取装置の導入で、計量・包装工程の効率化が可能になりました。



6 部分肉加工ライン
多様化する製品規格に対応するため、3つの加工ラインを整備。骨・脂等の副産物はコンベアで専用ラインに運搬後加工します。



5 枝肉計量・格付
懸肉室で枝肉の水分を蒸散させた後、枝肉を計量・格付し、冷却・保管を行います。

新工場ですべてと畜した豚肉



製品が保管されています



部分肉加工ライン



製品になった豚肉



ラインで豚肉を加工します

J A全農いわては、関係会社と連携し、日々岩手県産農畜産物の販売拡大に励んでいます。今回は、肉製品の加工・販売を担っている関連会社の1つ、「株式会社いわちく」について特集します。

株式会社いわちくは、岩手の大地で育まれた安全・安心な品質の食肉を全国の消費者に提供しています。岩手が誇るブランド牛「いわて牛」に始まり、首都圏で評価の高い「いわて純情豚」、「味工芸ハム」、「エルンテフェスト」(ソーセージ)といった加工品など、多種多様な商品を販売しています。日々品質の維持と継続的向上に努め、顧客から信頼される「安全・安心」な商品を生産・販売しています。

令和2年4月10日からは、新設された「豚処理加工施設」の稼働が始まりました。新工場では、と畜処理の1日当たりの頭数が1600頭と旧工場に比べ300頭増加しました。その他の工程においても、処理能力が向上しています。新工場の稼働により、産地食肉センターとしての機能強化とHACCPの衛生管理手法導入が図られ、より安全・安心・高品質な豚肉製品を消費者にお届けすることが可能になりました。

生産者の経営安定に寄与するとともに、製品の海外輸出や流通合理化に貢献することを旨とし、今日も稼働中です。

株式会社いわちく 豚処理加工施設

- 構造 鉄骨造一部二階建
- 面積 18,547.97㎡



■ 旧工場との処理能力比較

行程		旧工場	新工場
生体係留		900頭	1,428頭
	と畜処理		
	1日あたり	1,300頭	1,600頭
	1時間あたり	200頭	270頭
	1頭あたり	18秒	13秒
部分肉加工	1日あたり	1,200頭	1,200頭
	ライン数	2ライン	3ライン
冷蔵・保管	枝肉	3,000頭	4,000頭
	製品	150ト	215ト

新型コロナウイルス 感染拡大に伴う消費地情勢

(令和2年4月24日現在)

東京都内の情勢

新型コロナウイルス感染拡大による先行きの不透明感・不安感から、都内の量販店・ドラッグストアでは、2月末から3月末にかけて日用品や食料品の買い溜めが発生しました。

また、学校閉鎖や在宅勤務の増加により、家庭内で食事をする機会が増えています。不要不急の外出自粛要請の影響もあり、本会と取引がある生協では、共同購入サービスを目的とした組合員の新規加入が増えています。

結果、報道でも大きく取り上げられました。外食の売上は平時に比べ3割程度減少し、テイクアウト需要は大きく上昇しています。

その一方で、外食産業事業者・学校給食関係は行き場を失った食材を弁当・惣菜に加工し、社会貢献活動（子供食堂への寄付を含む）として割安販売・無償提供に取り組んでいます。

米穀の動向

2月末から、量販店等で消費者による精米の駆け込み買いが発生しました。また、外出自粛や飲食店の休業により4月2週目は家庭米の売り上げが増加しました。それにより一時的に多くの精米商品が品切れとなりました。米卸の2月の販売実績としては、新型コロナウイルスによる影響で量販店への精米販売は好調でした。トータルでは、業務用関連（外食・学校給食）は不調だったことにより、前年3月末実績とほぼ同様の実績となりました。業務用関係を多く扱う米卸の販売実績は前年比10ポイント以上落ちています。総じて、5月6日まで在宅勤務・休校の人が多いため、家庭向け販売は増加しましたが、業務向け販売は減少しています。

野菜の動向

野菜全体では、3月までは暖冬で推移したものの、4月に入り例年に比べ気温が低いことや降雨、作型の端境により大型野菜中心に品目全般で少なめの入荷で推移しました。現状は、気温も上昇しつつあり、果菜類中心に入荷量は回復傾向にあります。

販売動向は、飲食店向けの業務納め関係の注文は鈍い状況ですが、量販店での販売は好調であり、比較的安定した相場で推移しています。品目別にみると、貯蔵性があり使い勝手のよいじゃがいも、玉ねぎ、大根、キャベツ、白菜の引き合いが強くなっています。また春商材であるアスパラガスやタケノコの売り場が広がっており、気温も上がっていることからサラダ商材も荷動きは良い状態にあります。

一方で、長期化により消費者が価格に敏感になってきたことや、百貨店や駅ビルが休業していることから、売価による需要価格差が目立ってきており、98〜198円台の値頃感ある食材を中心に引き合いが強まっています。業務関係は非常に苦しく、行き場を無くした業務向け野菜が市場土間売りにされている様子も見られます。

果実の動向

いちごや晩柑類、りんご等の一般消費の手が届きやすい果実は総じて入荷量が多くありません。子どものおやつ需要と健康イメージから家庭向けの販売は比較的堅調です。一方、業務関係は野菜同様、荷動きは重い状態にあります。メロンやマンゴーなどの高級果実はインバウンド需要の減少、百貨店の休業や、冠婚葬祭・イベントの中止・縮小から販売が苦戦しています。輸入果実ではキウイやバナナ、オレンジなどの売り場が広がっています。

	数量(t)	前年同期比	単価(円/kg)	前年同期比
国産野菜	39,288	82.6% △8276t	259	102.2% +7円
輸入	994	61.7% △617t	242	107.3% +16円
国産果実	6,382	77.4% △1863t	550	105.3% +28円
輸入	1,243	67.3% △604t	260	99.7% △0.8円

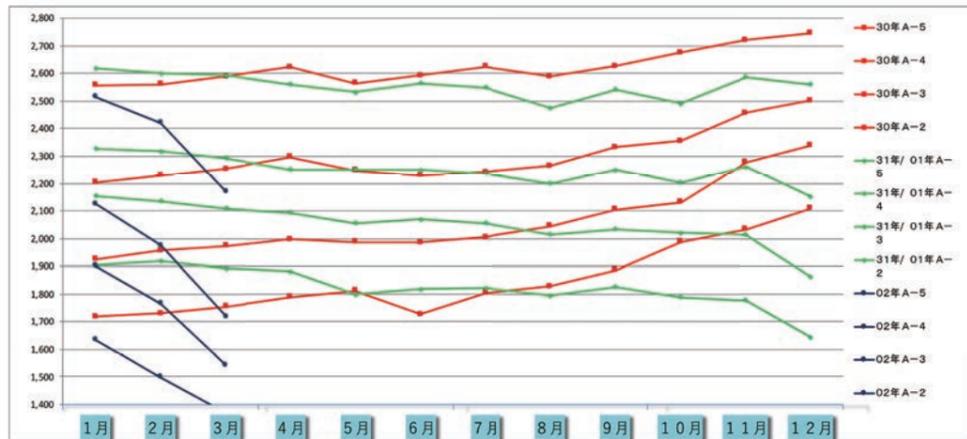


マスクを着用して競りが行われています

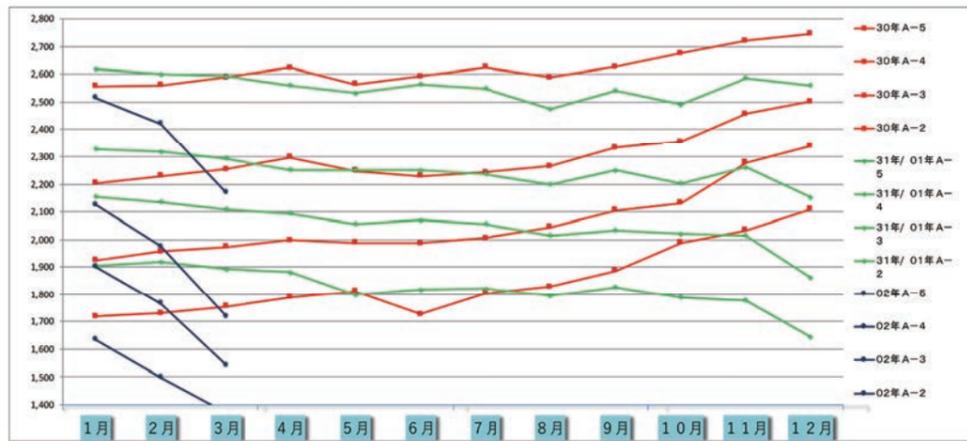


閑散とした消費地の街並み

東京食肉市場(株)黒和肉牛(去勢)等級別枝肉価格の推移(税抜)



東京食肉市場(株)黒和肉牛(雌)等級別枝肉価格の推移(税抜)



	等級	枝肉価格(円/kg)	前年同期比
去勢	5等級	1,763	69% △782円
	4等級	1,454	67% △762円
雌	5等級	1,827	69% △817円
	4等級	1,474	65% △800円

牛枝肉の動向

牛枝肉は、訪日外国人と外食機会の減少により、卸の在庫はかつてない水準で膨らみ、枝肉相場は大暴落しています。海外への輸出についても、安定した航空便の確保が難しい状況にあり、高級部位（ロース系）を中

心に卸の在庫が積み上がっています。量販店・小売店での牛肉販売は、家庭内需要の高まりにより好調を維持していますが、販売の中心は交雑種であり、和牛の需要増は多くを期待できない状況となっています。今後の情勢は不透明であり、厳しい販売環境の見込まれます。



二戸産のさくらんぼは粒の大きさ・見た目の美しさ・美味しさ、どれをとっても最高の品質だと誇りを持っていきます。さくらんぼは、程よく涼しい気候で管理してあげることが大切です。その点で、二戸の涼しい気候はさくらんぼの栽培にぴったりです。

二戸産のさくらんぼの強みは、なんといつても甘さと、見た目の綺麗さですね。中でも、糖度・粒の大きさ・色味を厳選した「夏恋」は、収穫から箱詰めまですべて手作業で行っています。色味や大きさを統一して箱詰めをするのでとても大変な作業ですが、手間暇をかけて出荷している分だけ、自信を持っておすすめします！



二戸市のさくらんぼ生産者
藤村亮一さんにインタビュー！

JA新いわて北部地域さくらんぼ生産部会の部会長を務める藤村さん。10年ほど前に就農し、さくらんぼ・りんごの生産を行っています。そんな藤村さんに、さくらんぼへのこだわりや、生産に携わる思いをお聞きしました。

自信と誇りを持てる「二戸産」

さくらんぼを栽培する中で、温度管理と日照管理には特に気を配っています。今年は、3月は暖かく4月は寒い日が多かったため、霜注意報が出た時は、每晚ビニールを掛けて少しでも生育に影響がでないように気をつけていました。温度調整のために徹夜で作業をすることもあったので、霜が降りるといつもハラハラしますね(笑)。さくらんぼの生産は温度管理が命です。一日中温度差や日光の当たり方に気を付け、さくらんぼの状態を良く保つよう心掛けています。

また、剪定にも気を配っています。剪定作業は、数年後の枝の状態も予測して切らないといけないため、経験と思い切りが必要な作業です。花が開花する前のこの時期は「大丈夫かな」と不安になることもありますが、そこがさくらんぼ栽培の面白いところだと思っています。

難しいからこそ、面白い

さくらんぼを届けるために、朝収穫したものをその日の午後に出荷しています。さくらんぼは3月〜7月初めまでの短期間で一気に栽培から収穫までを行います。短期間の勝負なので栽培期間中は本当にあわただしい毎日ですが、お客さんに喜んでもらえることを楽しみに、毎日仕事に励んでいます。

父の想い引き継いで

さくらんぼの生産は父の代から引き継ぎ20年が経とうとしています。会社を辞めて就農してから、父に学びながらさくらんぼの生産を行ってきました。今考えると、この時の経験が今に繋がっていると思います。父が亡くなってからは、父の思いを受け継ぎ、美味しいさくらんぼをもっと多くの消費者に届けるために、日々さくらんぼの事を考えています。

喜びの言葉がやりがい

収穫したさくらんぼをよく親戚に送るのですが、その親戚が友達にさくらんぼを送った時に「とても喜んでいたらよ。」と教えてくれたことがありました。やっぱりお客様に喜んでもらえた実感できたときに、「やっていて良かったな」と一番やりがいを感じますね。



産地直送通販サイト

JAタウン いわて純情館

注目の一品!

JA新いわて(二戸地区)自慢のさくらんぼ
『夏恋(佐藤錦)』『極み(紅秀峰)』予約受付中!

いわて純情館では、JA新いわて(二戸地区)のさくらんぼ「夏恋(佐藤錦)」「極み(紅秀峰)」の予約を受け付け中です。

発送時期：6月下旬～7月上旬(予定)
下記URL、QRコードからご注文ください!



<https://www.ja-town.com/>

JAタウン「いわて純情館」では純情ブランドを全国の食卓にお届けしています。

いわて純情館

**二戸の風土が生み出す
最高峰の贈りもの**

二戸市は、岩手県内でも随一のさくらんぼの生産地。さくらんぼの生育に適した冷涼な気候の中で育ったさくらんぼは、大きく、美しく、甘いことが特徴です。そんな二戸市を含むJA新いわて管内のさくらんぼの中でも、大きさ・色味・甘さどれをとっても最高峰の品質を誇るのが「夏恋(佐藤錦)」「極み(紅秀峰)」です。



『夏恋』(佐藤錦) 500g 5,400円(税込)

綺麗な赤みと口いっぱいに広がる甘さが特徴です。JA新いわて管内の佐藤錦の中でも、糖度が高く着色度が80%以上のものを厳選し、「夏恋」として販売しています。色味・大きさまで統一されパッケージングされた「夏恋」は、見た目にも美しく、贈答用として高い人気を誇っています。

『極み』(紅秀峰) 500g 5,200円(税込)

肉厚の果肉に詰まった芳醇な甘みとほのかな酸味との絶妙なバランスが特徴です。佐藤錦に比べると粒が大きく、食べ応えがあります。「夏恋」同様、贈答用としてたくさんの方に喜ばれるさくらんぼです。



最高のさくらんぼを届けたい

お客様から感謝される品物であってほしいという思いを込めて、「最高の品質」を目指して日々仕事をしています。これからも気持ちを入れて最高のさくらんぼを作りたいと思っています。もっと多くの人に、二戸市と二戸産のさくらんぼを知ってもらえるように頑張ります!

「純情産地いわて」

そこでは、純な自然の力と人々の情が通い合い、純情な農畜産物がすくすくと育っている。そんな「純情産地いわて」を支える、各事業部の取り組みをご紹介します。

農家の皆様へ、最適な農業資材をお届けします。

■品目ラインナップ

【水稲初中期一発除草剤】 18品目 30規格

アツバレZ1キ口粒	(20kgx2)x1	4ha用
アツバレZジャンボ	(4kgx4)x1	4ha用
ウイナー1キ口粒剤75	(20kgx2)x1	4ha用
エンペラー1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
エンペラー豆つぶ250	10kgx1	4ha用
カチボシ1キ口粒剤75	(20kgx2)x1	4ha用
ガンガン1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ガンガン豆つぶ250	(10kgx1)	4ha用
キマリテ1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
キマリテフロアブル	20Lx1	4ha用
コメット1キ口粒剤	(5kgx4)x2	4ha用
コメット顆粒	(4kgx1)	4ha用
ジェイフレンド1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ジェイフレンドジャンボ	(4kgx4)x1	4ha用
シグナス1キ口粒剤	(5kgx4)x2	4ha用
シリウスエグザ1キ口粒剤	(5kgx4)x2	4ha用
デルタアタック1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
デルタアタックジャンボ	(4kgx4)x1	4ha用
トップガン250G	(10kgx1)	4ha用
トップガンGT1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ナギナタ豆つぶ250	(10kgx1)	4ha用
パッチリLX1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
パッチリLXジャンボ	(4kgx4)x1	4ha用
プライオリティ1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
プライオリティ豆つぶ250	10kgx1	4ha用
ベッカク1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ベッカク豆つぶ250	10kgx1	4ha用
ペンケイ1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ペンケイ豆つぶ250	(10kgx1)	4ha用
ヤブサメ豆つぶ	(10kgx1)	4ha用

【水稲中期除草剤】 1品目 1規格

ワイドショット1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
--------------	------------	------

【水稲中後期除草剤】 1品目 1規格

パイゴールSM1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
--------------	------------	------

【水稲育苗箱処理剤】 13品目 13規格

Dr. オリゼパティート粒	(20kgx2)x1	4ha用
Dr. オリゼプリンススピノ粒6	(20kgx2)x1	4ha用
アブライフテルラ粒	200kgx1	20ha用
アンコール箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
スタウトパティート箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ツインキック箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ツインターボ箱粒剤08	(20kgx2)x1	4ha用
ファーストオリゼパティート粒	(20kgx2)x1	4ha用
フェルテラセクサロン箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
プリンス粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ルーチンパンチ箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ルーチンアドスピノ箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
防人箱粒剤	(20kgx2)x1	4ha用

【水稲初期除草剤】 3品目 4規格

ピラクロン1キ口粒剤	(20kgx2)x1	4ha用
ピラクロンジャンボ	(300gx20)x2x1	4ha用
ベクサーフロアブル	(5kgx4)x1	4ha用
メテオフロアブル	20Lx1	4ha用

4. おわりに
 本会では引き続き生産資材コスト低減の取り組みとして、農業事業では今回ご紹介した『担い手直送規格農薬』の品目拡大を行っていくほか、肥料事業では、はじめに記述したB大規模農家対策の利用をすすめる、たくさんの農家組合員がコスト低減を実感できる取り組みをおこないます。
 今後も、農家組合員に親しまれる全農であるためにJAと一体となった推進を強化していきます。

■担い手直送規格品の拡大推移(令和2年3月末時点)

担い手直送規格	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年
品目数(品目数)	36	32	24	18
使用面積(ha)	7,360	4,218	4,800	659

(2) 出荷実績について
 初年度、平成29年産用の『担い手直送規格農薬』は水田面積ベースで659haの取扱でしたが、令和2年3月末時点(令和2年産用)では7,360haの取扱となり年々ご利用いただく農家組合員が増加しているとみています。

(1) 品揃えの拡大について
 平成29年産用の取扱品目は水稲育苗箱処理剤2品目、水稲初中期一発除草剤9品目でしたが、年々取扱品目を増やしています。また、散布労力の軽減が図れるジャンボ剤・豆つぶ剤・顆粒剤も引続き取扱います。

3. 岩手県内での取扱について

1. はじめに
 本会では、農業生産にかかるトータル生産コストの低減にむけた機能強化をより進めるため、昨年度より生産資材部を設置しました。系統購買事業の主力である肥料・農薬・農業機械の取扱業務を集約し、JAとの農家対応および緊密な連携をはかり農家組合員の生産コスト低減につながる提案と推進を行っています。
 肥料では、対象期間内にB大規模農家を4トン以上ご購入の農家組合員に助成をする『B大規模農家対策』を制定し、模範農家対策』を制定し、農薬においては、『担い手直送規格農薬』の品揃えを増やし生産コスト低減に向けて更なる普及をすすめています。
 今回は、この『担い手直送規格農薬』の特徴や品目ラインナップおよび岩手県内の利用の推移についてご紹介いたします。

通常規格 >>> 大型規格 >>>>> 担い手直送規格



担い手直送規格イメージ



担い手直送規格統一ロゴ「メガ得」マーク



2. 担い手直送規格農薬とは
 農家組合員の生産資材コスト低減を目指し、『大型規格品』よりも更に大きなサイズの『担い手直送規格品』の販売を開始し本年で4年目を迎えます。この製品は注文締切日を含めた『完全受注生産』および『メーカーからの直接配送』など徹底した物流コストの削減により大幅な価格引き下げを可能にし

ました。また、『担い手直送規格品』は同じ農薬の通常規格(水稲除草剤1キ口粒剤↓1kg、水稲育苗箱処理剤↓1kg)と比較し約2割から3割お得になり生産コスト低減効果が期待出来ます。この『担い手直送規格品』には、統一ロゴである『メガ得』マークをつけています。

JA全農いわての 純情人

じゅん じょう びと

新入職員編

今年度、この8人が新たに仲間入りしました。
4月よりそれぞれの部署で頑張っています!!

- ①出身地 ②趣味・特技 ③好きな言葉
- ④入会前、感じていた“全農”のイメージは?
- ⑤社会人としての意気込み

あべ せいや 阿部 誠矢

[生産資材部 肥料農業推進課]

- ①奥州市
- ②旅行・ドライブ
- ③「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる。」本田宗一郎氏の言葉で、成功に繋げるために何事にも挑戦していきたいです。
- ④入会前は全農に対して、農産物や肥料などを生産者から消費者へと繋ぐ役割を担っているというイメージを持っていました。
- ⑤失敗を恐れず何事にもチャレンジしていき、わからないことがあったら先輩を頼り自身が成長できるようにしていきたいです。



あべ けんご 阿部 健悟

[生産資材部 農業機械課]

- ①紫波町
- ②スポーツ全般・筋トレ・スケートボード・スノーボード
- ③「報恩謝徳」。大学のラグビー部のスローガンでした。感謝を忘れない。そして恩返しをするという意味で、この言葉のおかげで大学4年間ラグビーを続けることができました。この言葉を胸に新社会人頑張っていきたいと思えます
- ④お客様に寄り添い、農業発展のために頑張っているというイメージがありました。自分もそれに近づけるように頑張りたいと思います。
- ⑤新社会人として、とにかく失敗を恐れずに常に挑戦し、様々な人に感謝し恩返しできるように頑張ります。



農事組合法人サンロード役員の皆さん

えちぜんや ゆうた 越前屋 雄大

[米穀部 米穀販売課]

- ①秋田県 潟上市
- ②スポーツ観戦、旅行
- ③「継続は力なり」
- 小さなことでも努力し続け、目標達成へ導くことが大切だと思うからです。
- ④生産者と消費者をつないで、日本の食と農業を支えるための組織であるというイメージを持っていました。
- ⑤社会人としての「自覚」と「責任」を持って行動できるようになり、1日でもはやく信頼される職員となれるように一生懸命頑張っていきたいと思えます。



きくち しょうた 菊池 翔太

[園芸部 生産販売課]

- ①盛岡市
- ②球技スポーツ
- ③「意志あるところに道はある」
- 自分の意志がないと何事も始まらないからです。
- ④生産者の方々から出荷していただいた農作物を消費者に販売しているイメージでした。
- ⑤多くの方々にご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



きくち なる 菊池 真永

[管理部 総務人事課]

- ①遠野市
- ②カラオケ、読書、イラスト、散歩が趣味で特技は遠野市のプレゼンです。
- ③「人間は必ず恥をかくようにできている」
- 失敗を恐れずに挑戦し続けていくためにこの言葉を選びました。
- ④日本の農業をささえている組織であることだけは理解していました。またCMの「こ〜めこめあいをこめ〜♪」がとても印象的でした。
- ⑤様々な経験を積んで自信を持ち、向上心をもって物事に挑み続けて「菊池さんに頼んでよかった」と頼りにされる社会人になりたいです。



さとう まみ 佐藤 麻美

[園芸部 花き・資材課]

- ①一関市
- ②ダブルダッチ・野球観戦
- ③「刹那」
- 1分1秒、時間を大切にしたいからです。
- ④農業分野全般をサポート・運営しているというイメージを持っていました。
- ⑤信頼される職員になれるよう、初心を忘れずに頑張ります。



たきさわ 瀧澤 まみ

[畜産酪農部 家畜市場課]

- ①軽米町
- ②韓国語、食べること
- ③「笑う門には福来たる」
- 笑っていることが一番の健康法だからです。
- ④正直、具体的に何をしている組織なのかわかりませんでした。一方で「全農のロゴが入っているモノは安心して食べられる」というように、不思議と信頼感がありました。それくらい岩手の、日本の食の安全を維持している大きい「機関」というイメージがありました。
- ⑤私の長所は物事を丁寧に進めることだと思っています。それに加えて、今年は特に効率性を意識しながら、目まぐるしい家畜市場の運営に携わり自分の成長を実感できる一年にしたいと思っていますよろしくお願ひします。



ほし なな 星 菜々

[管理部 総合企画課]

- ①盛岡市
- ②趣味:旅行・カメラ
- 特技:水泳(4歳から18歳までやっていました)
- ③「ありがとう」
- 相手のために行動できたと実感するからです。言う側も言われる側もハッピーになります。
- ④農業・農家・食に関わる大きな組織であるとイメージしていました。そして農業を支えていると感じていました。
- ⑤失敗を恐れずに100%のパフォーマンスができるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。



生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート

県下JAのTACの皆さん(通称JA・TAC)が、担い手農家の抱える課題の解決に向けて奮闘する姿をご紹介します!



営農支援部 次長
山崎 勉

今回ご紹介するのは、JA新いわて(八幡平エリア)でTAC活動をしている齋藤重孝さんです。

ゼロからのスタート

齋藤さんは営農部門経験が長かったものの、昨年度から初めてJA・TACとして担い手農家を支援する立場になりました。しかし、実際担当してみると、農業法人には今までの経験では直面しなかった様々な課題があり、ゼロからのスタートでした。

2人3脚で課題を解決!

八幡平にある農事組合法人サンロードは平成30年春に発足、水稲を中心に約80haの経営面積がありました。同法人は水稲栽培のさらなる省力化を課題としていましたが、齋藤さんは今後の規模拡大も見据えた新たな取り組みに対する作業リスクの低減が必要だと考え、同法人の労災保険加入手続きが未完了であることも課題と感じていました。そのために労災保険という新たな分野を自ら学び、何度も訪問して書類作成のやり直しなどの苦労をともに重ねた結果、同法人は労災保

険の加入手続きを本年4月1日付で完了させることができました。

深まる信頼関係

一方で、担い手が求める課題解決に向けて、齋藤さんは本会と連携してドローンによる水稲直播(散播)を県内初の試みとして同法人の圃場で実施し、通常の春作業(播種育苗+移植)との時間比較で、鉄コーティング散播(コーティング+播種)では大幅な労働時間削減による省力効果が見込めることを確認しました。

様々な課題に真正面から向き合い、訪問活動を通じて信頼関係を深めながら解決に導くのがTACです。改めて、齋藤さんがそのTAC像であると感じられました!

本会は、今後もTACが担い手農家とJAのパイプ役となって様々な課題解決を図っていけるよう、TAC活動を支援してまいります!



TACの声

JA新いわて(八幡平エリア)
齋藤重孝さん



訪問活動の中で、それぞれの担い手毎にマッチングするだろうと感じるJAの取組みを提案することを心がけています。初めて行う提案には、自分自身が新たな分野を学習する場面も出てきますが、担い手のため、自身のスキルアップのためにも必要なことだと感じています。「担い手に声掛けをしなければニーズもわかるわけがない」この言葉を意識して日々のTAC活動に励んでいきたいです。

担い手農家の声

農事組合法人サンロード
代表理事 立柳 秀範さん



TACの齋藤さんには何度も足を運んでもらい助けてもらいました。ドローンを使うことは人手不足を解決する有力な手段の一つだと思います。通常の移植栽培とも比較しつつ、コストも考えながらドローンの導入を法人としても検討していきたいです。労災事故は起こさないようにももちろん努力はしますが、万が一の事があった時に安心できることが1番です。JAからの支援でより良い法人にしていきたいです!

レットライクッキング!

Let's try cooking

orders 12

ほうれん草の宝袋

▼材料(2人分)

- 油揚げ(小)…2枚、にんじん…40g、ほうれん草…80g、卵(小)…2個
- A(だし汁(めんつゆでも可)・みりん・酒・しょうゆ…各適量)

▼作り方

- ①油揚げは油抜きし、にんじんは4cm長さの千切り、ほうれん草は茹でて4cm長さに切っておく。
- ②油揚げの短いほうの端を切って袋状にし、最初ににんじんを詰め、さらにその上にほうれん草を詰め、最後に生卵を割り入れ、油揚げの口を爪楊枝で止める。
- ③鍋の中にAを入れて煮立て、卵が流れないように爪楊枝で止めた油揚げの口を上にして倒れないように並べ、10分間煮る。
- ④煮えたら取り出し、縦半分に切る。



INFORMATION

「いわて牛を食べて応援フェア」

応募方法

専用の応募はがきまたは郵便はがきにいわて牛を購入されたレシート1枚または商品ラベル(値札シール)1枚を1口としてはがきに貼り、必要事項

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦職業 ⑧お買い求め店舗をご記入のうえ応募ください。お一人様何口でもご応募いただけます。送料(切手代)はおお客様でご負担ください。当選発表は商品の発送を持って替えさせていただきます。

いわて牛を食べて応援フェア

フェア期間 2020年6月30日(火)まで
応募締切 2020年7月3日(金) ※当日消印有効

いわて牛を購入されたレシート1枚、または商品ラベル(値札シール)1枚を1口としてご応募ください。



1 いわて牛ステーキ
180g×2枚
50名様

抽選で
総勢100名様に当たる!!

※写真はイメージです



2 いわて牛ロースト
ソース付
50名様

●応募先
〒020-8799
日本畜産株式会社 盛岡中央郵便局
いわて牛を食べて応援フェア係

●キャンペーンに関するお問い合わせ
フェア運営事務局 TEL 0120-623-706
受付/平日10時~17時

いわて牛普及推進協議会・JA全農いわて・岩手県

いわて牛普及推進協議会
http://www.iwatagy.jp/

いわて牛

編集後記

今世界を巻き込んでいるコロナウイルス。様々なことが自粛を強いられる中、食べることだけは自粛できません。農業がどれだけ人々の生活を支えているかを改めて知りました。なかなか先の見えない不安な日々ですが、こんな時だからこそおいしいものを作って・届けて・食べて…。今こそ「食」で日本を元気にできる時なのかもしれません。(毛塚)

先月発行しました「クララ」4月号に誤りがございました。裏表紙「令和2年度 県本部連絡先一覧」

(誤)消費地販売課(大田) (正)消費地販売課(品川)
消費地販売課(品川) 消費地販売課(大田)

読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に書かれている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

